

アジア・ヘルスケア株式ファンド

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第22期(決算日2025年12月22日)

作成対象期間(2025年6月24日～2025年12月22日)

第22期末(2025年12月22日)

基準価額	12,460円
純資産総額	5,055百万円
第22期	
騰落率	19.0%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要な事項にかかる情報を記載したものです。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「アジア・ヘルスケア株式ファンド」は、2025年12月22日に第22期の決算を行ないました。当ファンドは、主として、日本を除くアジアの金融商品取引所に上場されている医療関連企業の株式を投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<642681>

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.amova-am.com

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当運用報告書に関するお問い合わせ先

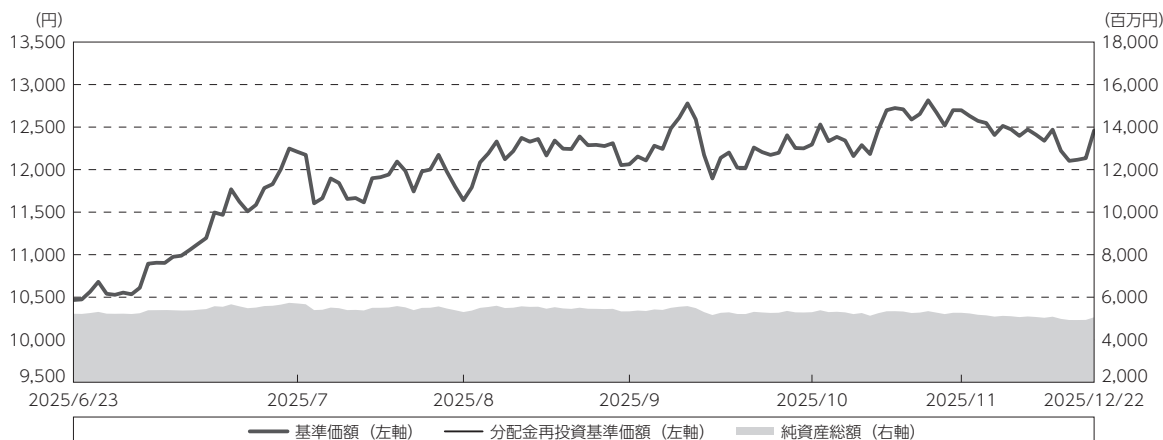
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2025年6月24日～2025年12月22日)



期首：10,467円

期末：12,460円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：19.0% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2025年6月23日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、日本を除くアジアの金融商品取引所に上場されている医療関連企業の株式を投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・中国のバイオ医薬品業界で「ディープシーク・モーメント(中国発のイノベーションが世界の産業構造などを覆す瞬間)」が起き、株価が上昇基調となり、中国のヘルスケア市場のパフォーマンスがプラスに寄与したこと。
- ・韓国の銘柄選択が奏功してプラスに寄与し、アジアのヘルスケア市場全体を上回る好調なリターンを達成したこと。

<値下がり要因>

- ・中国市場で、年初からの大幅な株価上昇を受けて利益確定売りが優勢となったこと(2025年10月)。

1万口当たりの費用明細

(2025年6月24日～2025年12月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	69	0.576	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(14)	(0.121)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(52)	(0.439)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.026	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用 等)	(3)	(0.024)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
合 計	72	0.602	
期中の平均基準価額は、11,905円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

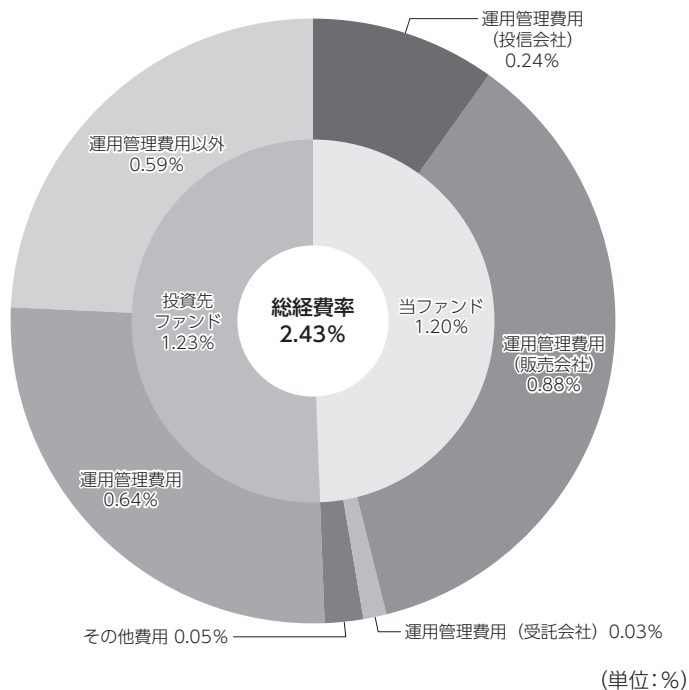
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.43%です。



総経費率(①+②+③)	2.43
①当ファンドの費用の比率	1.20
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.64
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.59

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年12月21日～2025年12月22日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2020年12月21日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2020年12月21日 決算日	2021年12月21日 決算日	2022年12月21日 決算日	2023年12月21日 決算日	2024年12月23日 決算日	2025年12月22日 決算日
基準価額 (円)	11,022	9,726	9,026	9,216	9,926	12,460
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 11.8	△ 7.2	2.1	7.7	25.5
純資産総額 (百万円)	12,841	8,145	6,963	6,252	5,275	5,055

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

(2025年6月24日～2025年12月22日)

(アジア株式市況)

2025年後半のアジア株式市場は、関税の不透明感や金融緩和、人工知能（AI）などが主なテーマとなりました。ボラティリティ（変動性）が高まるなかでも、景気刺激策や構造的な成長ドライバーが追い風となり、域内の株式市場は力強い上昇を見せました。ヘルスケアセクターでは、韓国の力強さがけん引役となり、非常に良好なパフォーマンスとなりました。

夏場は、米国の貿易をめぐる緊張が緩和され、中国政府が内需を優先する取り組みを進めるなか、市場は関税引き上げによってボラティリティが高まった局面から持ち直しました。また、AIの急速な進展（特に中国のDeepSeek）を見せると、テクノロジー分野に対する楽観的な見方が再び広がりました。秋は、米国連邦準備制度理事会（FRB）が利下げを再開したことやNvidiaがOpenAIに投資したことなどを受けて、投資家のリスク選好姿勢が強まりました。米中間の緊張緩和やFRBによる追加金融緩和を受けて市場はその後上昇しましたが、年末にかけて追加利下げ実施の有無が議論されるなか、テクノロジー・バブルに対する懸念が広がりました。

中国のヘルスケアセクターは、グローバルな大手製薬企業との提携を通じて検証されつつある研究開発パイプラインのイノベーションがけん引役となり、卓越したパフォーマンスを見せました。しかし、10月以降に投資家が大幅な利益確定売りを実施すると、上昇分の一部を吐き出す形となりました。また、韓国市場は、企業業績が市場予想を上回ったことやバイオテクノロジー分野の臨床試験やライセンス契約の進展が追い風となり、上昇基調をたどりました。一方、インドのヘルスケアセクターのパフォーマンスは、米国による医薬品関税の不透明感や「最恵国薬価制度」（他の先進国の最も低い価格に合わせる）に対する懸念の影響を受けて、横ばいで推移しました。

(国内短期金利市況)

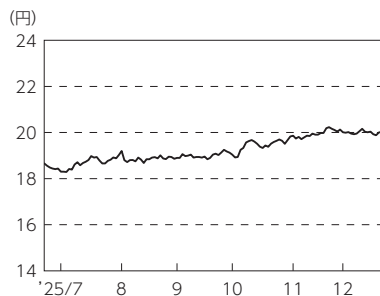
無担保コール翌日物金利は、期間の初めの0.48%近辺から、2025年12月の日銀金融政策決定会合において追加利上げが決定されたことなどを受けて、0.73%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの0.39%近辺から、日銀による利上げなどを受けて、0.63%近辺で期間末を迎えました。

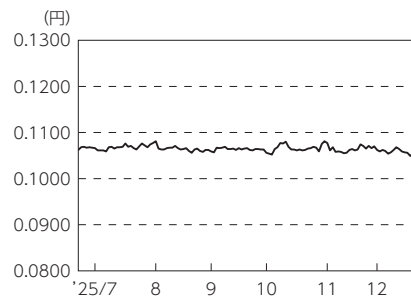
(為替市況)

期間中における主要通貨(対円)は、右記の推移となりました。

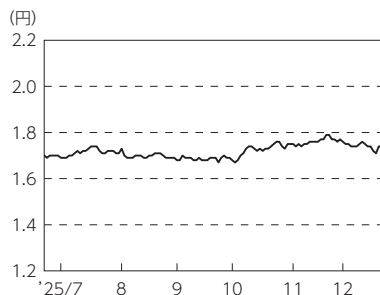
円／香港ドルの推移



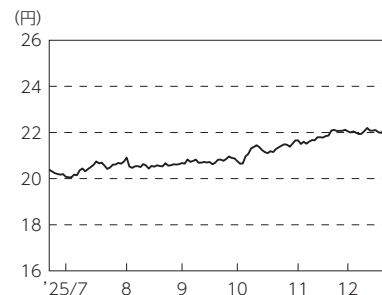
円／韓国ウォンの推移



円／インドルピーの推移



円／香港・オフショア人民元の推移

**当ファンドのポートフォリオ**

(2025年6月24日～2025年12月22日)

(当ファンド)

当ファンドは、収益性を追求するため、「アモーヴァ・アジア・ヘルスケア・ファンド (JPYクラス)」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

(アモーヴァ・アジア・ヘルスケア・ファンド (JPYクラス))

期間中のアジアのヘルスケアセクターのパフォーマンスは、アジア地域全体には劣後しましたが、当ファンドのパフォーマンスはアジアのヘルスケアセクターを上回りました。

期間中、国・地域別で最もプラスに寄与したのは中国と韓国でした。中国では、バイオテクノロジー企業や製薬会社の銘柄選択が特に奏功しました。当ファンドで保有するバイオ医薬品関連銘柄の60%がアジアのヘルスケアセクターをアウトパフォームし、また当ファンドが組み入れている企業のうち3社が年後半に大手製薬企業とのライセンス契約を発表したことを受け、通年で発表されたアウトライセンス契約件数は合計6件となりました。パフォーマンスに最もプラスに寄与したのは革新的なグローバルバイオ医薬品企業です。注力する4つの治療分野でリーダーシップを確立しており、現在、革新的な医薬品の売上は総売上の80%超を占めています。

韓国市場では、機を見て投資比率を高めたことに加え、優れた銘柄選択を行なったことにより、アジアのヘルスケア市場全体を上回りました。バイオ医薬品大手は、1ヵ月間の取引停止を経て、バイオシミラー事業を持株会社にスピンオフ（分離）しました。また、RNA治療薬を開発する顧客向けにオリゴヌクレオチド（DNAやRNAの短い配列）を供給する企業の株価は50%超上昇しました。その背景として、NovartisがAlnylamとのライセンス契約の下で開発・製造する動脈硬化性心血管疾患治療薬「レクビオ」が成長を続け、RNA治療の適応が希少疾患から一般的な慢性疾患へと拡大し、初のブロックバスターRNA製剤になるとの期待が広がったことがあります。

その他、韓国では中小型株が良好なパフォーマンスを見せました。肥満治療薬パイプラインを構築中の韓国のバイオテクノロジー企業の株価は、第2相臨床試験の主要な結果が良好となったことを受けて急騰し、その後も米国提携企業のM&A（合併・買収）のニュースを受けて第4四半期にかけて上昇基調となりました。同様に、今年初めに投資した新規上場の有望なメドテック企業は、内視鏡処置中の出血予防分野における臨床試験の成功を発表したことで、投資家からの評価を獲得しました。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

運用の基本方針に従い、国債の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2025年6月24日～2025年12月22日）

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

（2025年6月24日～2025年12月22日）

分配金は、基準価額水準や市況動向などを勘案し、以下の通りといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第22期
	2025年6月24日～ 2025年12月22日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,567

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、「アモーヴァ・アジア・ヘルスケア・ファンド（JPYクラス）」受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

(アモーヴァ・アジア・ヘルスケア・ファンド（JPYクラス）)

トランプ米国大統領の政策を背景に、貿易戦争の緩和期待が一部で高まるなか、アジア株式市場は金融環境の緩和を支援材料としながらも、ボラティリティの高い状態が続きました。停戦や貿易政策をめぐる改善の兆しは見られるものの、見通しは依然として不透明です。

中国の流動性環境は引き続き追い風であり、中国株式にとって明るい兆しとなっています。また、中国証券監督管理委員会は、国有保険会社など長期投資家に対し、国内A株市場への資金配分を促す取り組みを強化しており、国内株式市場への投資拡大を奨励する措置などを発表しました。継続中の関税をめぐる米中間の対立についても、改善へと向かう明るい兆しが見られ、投資家心理を下支えしています。

韓国では、好調な企業収益と政府によるバリューアップ・プログラムを背景に、株式市場が年初来で良好なリターンを達成しています。韓国企業は世界的な成長を続けるなかで、魅力的なバリューエーション（価値評価）を提供しています。

インドは短期的に逆風に見舞われているものの、長期的には引き続き魅力的な投資機会があると見ています。政府による経済成長重視の政策や構造改革が、企業収益の回復を下支えする見通しです。

中国ヘルスケア市場の変化としては、2025年12月の初めに商業保険による医薬品カバレッジリストが発表され、国家償還リストに加えて新たなカバレッジが提供されました。これは高額治療薬分野の国内需要を長期的に支える要因となります。

米国バイオセキュア法案に関しては、より緩和された内容で米国議会を通過し、12月後半に採決予定です。バイオセキュア法案の最終的な決着は、中国のC R DMO（医薬品の研究、開発、製造を包括的に受託する組織）セクターに重くのしかかっていた懸念を取り除くこととなります。

より重要なこととして、中国や韓国のバイオ医薬品企業は、革新的なパイプラインを背景に、大手製薬会社とのライセンス契約を拡大しています。今後12ヵ月を見通すと、同セクターに好影響をもたらす可能性のある主なドライバーは2点あると予想しています。1点目は、グローバル製薬企業から導入したパイプラインに関する主要な臨床データの公表です。2点目は、主要なバイオ医薬品企業の研究開発のさらなる加速によって、ライセンスアウト契約が今後より多く見込まれることです。こうしたなか、当ファンドでは4つの主要分野に注目しています。1つ目は、がん治療パイプラインのデータ公表を受けた、二重特異性抗体と抗体薬物複合体の併用などの可能性です。2つ目は、肥満治療のパイプライン開発における、経口剤への展開、長時間作用型注射剤の開発、筋肉量減少の予防などです。3つ目は、RNA療法の進展により、希少疾患から、ニーズが特に満たされていない分野を含む一般的な慢性疾患へと適応が拡大する点です。4つ目は、AIをベースとした創薬の進展です。

過去10年でアジアのヘルスケア市場は大きく拡大し、医薬品中心からバイオテクノロジー、メドテック、ライフサイエンス、AIなど多様なサブ産業へ広がっています。当ファンドでは、こうした構造変化を捉え、長期的な成長機会を積極的に活用していきます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

約款変更について

2025年6月24日から2025年12月22日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

当ファンドについて、2025年9月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。

- ①委託会社である当社がその社名を「日興アセットマネジメント株式会社」から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。(第1条、第16条)
- ②当社の社名変更に伴ない、電子公告を掲載する当社ホームページのURLを「www.nikkoam.com/」から「www.amova-am.com」に変更いたしました。(第49条)
- ③当社の社名変更に伴ない、当ファンドが投資対象とする投資信託証券「日興AMアジア・ヘルスケア・ファンド（JPYクラス）円建受益証券」の名称を「アモーヴァ・アジア・ヘルスケア・ファンド（JPYクラス）円建受益証券」に変更いたしました。(附表)

その他の変更について

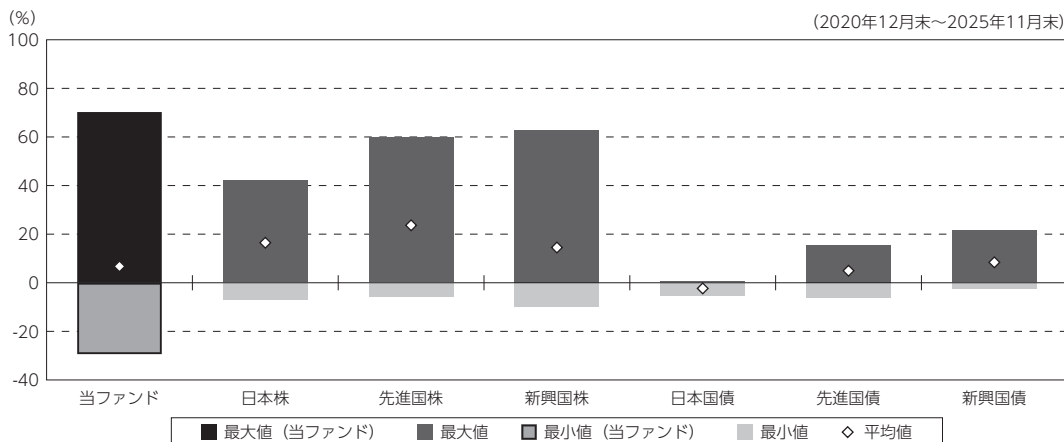
当ファンドが投資対象とするシンガポール籍円建外国投資信託「アモーヴァ・アジア・ヘルスケア・ファンド（JPYクラス）」につき、2025年9月1日付けにて投資顧問会社である「日興アセットマネジメント アジア リミテッド」がその社名を「アモーヴァ・アセットマネジメント・アジアリミテッド」に変更いたしました。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2015年1月16日から原則無期限です。
運用方針	主として、アジア（日本を除きます。）各国の金融商品取引所に上場されている医療関連企業の株式（これに準ずるものを含みます。）を投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	「アモーヴァ・アジア・ヘルスケア・ファンド（J P Yクラス）」受益証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	主として、日本を除くアジアの金融商品取引所に上場されている医療関連企業の株式を投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。大企業から中堅企業、ベンチャー企業まで、幅広いユニバースから銘柄を選択します。原則として、為替ヘッジは行ないません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	70.3	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	△ 29.4	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 5.5	△ 6.1	△ 2.7
平均値	6.7	16.5	23.6	14.5	△ 2.3	4.9	8.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年12月から2025年11月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株: TOPIX (東証株価指数) 配当込み

先進国株: MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株: MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債: NOMURA-BPI 国債

先進国債: FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債: JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●TOPIX (東証株価指数) 配当込みは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われるアモヴァ・アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。●JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2025年12月22日現在)

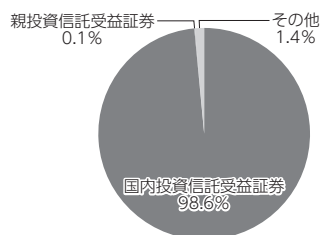
○組入上位ファンド

銘柄名	第22期末
	%
アモーヴァ・アジア・ヘルスケア・ファンド（J P Yクラス）	98.6
マネー・アカウント・マザーファンド	0.1
組入銘柄数	2銘柄

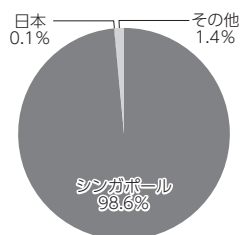
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

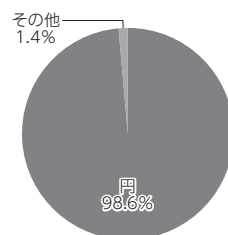
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 国内投資信託受益証券には外国籍（邦貨建）の受益証券を含めております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第22期末	
	2025年12月22日	
純資産総額	5,055,040,264円	
受益権総口数	4,056,960,485口	
1万口当たり基準価額	12,460円	

(注) 期中における追加設定元本額は76,092,447円、同解約元本額は1,007,271,596円です。

組入上位ファンドの概要

アモーヴァ・アジア・ヘルスケア・ファンド（JPYクラス）

【基準価額の推移】



(注) グラフは分配金再投資基準価額です。

【1万口当たりの費用明細】

(2024年1月1日～2024年12月31日)

当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

【組入上位10銘柄】

(2024年12月31日現在)

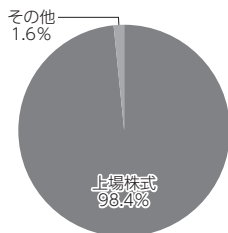
銘柄名	業種／種別等	国（地域）	比率
1 Sun Pharmaceutical Industries Limited	上場株式	インド	9.3%
2 Samsung Biologics Company Limited	上場株式	韓国	7.6%
3 Celltrion Incorporated	上場株式	韓国	6.2%
4 BeiGene Limited	上場株式	米国	5.7%
5 Divi's Laboratories Limited	上場株式	インド	4.8%
6 Cipla Limited	上場株式	インド	4.6%
7 WuXi Biologics Cayman Incorporated	上場株式	中国	4.5%
8 Bangkok Dusit Medical Services Public Company Limited	上場株式	タイ	4.1%
9 Innovent Biologics Incorporated	上場株式	中国	3.6%
10 Dr Reddy's Laboratories Limited	上場株式	インド	3.3%
組入銘柄数		40銘柄	

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

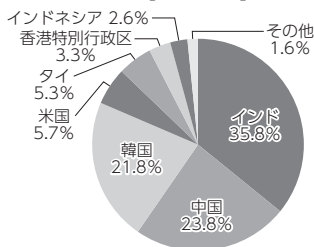
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

※必要な情報が開示されておりません。

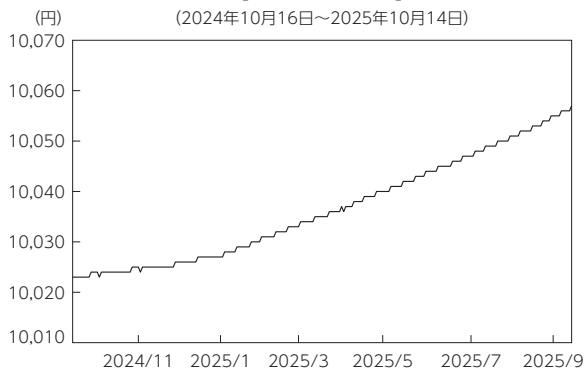
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

マネー・アカウント・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2024年10月16日～2025年10月14日)



【1万口当たりの費用明細】

(2024年10月16日～2025年10月14日)

該当事項はございません。

【組入上位10銘柄】

(2025年10月14日現在)

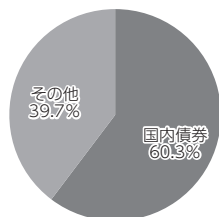
	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国 (地域)	比率
1	第454回利付国債(2年)	国債証券	円	日本	60.3%
2	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—
4	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数			1銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

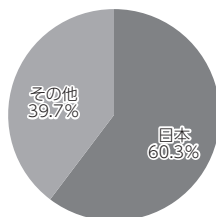
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

(注) 国 (地域) につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

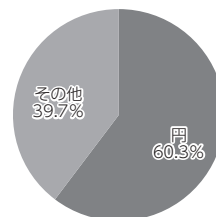
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書 (全体版) をご参照ください。